

～消費者注意情報～

リチウムイオン電池による事故が増えています！ ～モバイルバッテリーの異常発熱・膨張などに注意！～

令和7年8月6日

相談事例

スマートフォンの充電用にネットで購入したモバイルバッテリーが膨らんでいる。発火などにつながる危険があると思う。海外製だがメーカーは不明だ。処分したいがどうしたらいいか。 (40歳代 男性)



ココに注意！…東京都消費生活総合センターからのアドバイス

★ リチウムイオン電池による事故が増えています

リチウムイオン電池は、モバイルバッテリーやファン付きベスト、雑貨やおもちゃなど様々な製品に使われており、リチウムイオン電池が原因の事故が増えています。特に気温が高い時期は、注意が必要です。

★ リチウムイオン電池による事故防止のポイント

① 連絡先が確かなメーカーや販売店で購入する

- ・ 安価な非純正バッテリーは、設計や互換性等に問題がある場合があるので、注意しましょう。
- ・ 販売元の情報に、日本語対応の連絡先があるか確認しましょう。
- ・ 購入前に、商品がリコール対象になっていないかを事業者や消費者庁のHPで確認し、購入後も、最新のリコール情報をチェックしましょう。

(参考) リコール情報サイト (消費者庁) : <https://www.recall.caa.go.jp/>

② 高温下に放置したり、強い衝撃を与えたりしない

- ・ 日光の当たる場所や暑い室内・車内等に放置すると発火する恐れがあるのでやめましょう。
- ・ 落下などの衝撃は、内部ショートが生じ、発煙・発火につながるので気を付けましょう。

③ 充電や使用時に、異常を感じたらすぐに使用を中止する

- ・ 充電できない、充電中に熱くなる、膨張・変形、急に電源が切れる、など異常を感じたら、すぐに使用を中止しましょう。
- ・ 発火した場合は大量の水で消火し、可能な限り水没させた状態で119番通報しましょう。煙や火が噴き出している時は絶対に近寄らず、身の安全を確保した上で通報してください。

★ 処分するときは、自治体のルールを守って処分しましょう

リチウムイオン電池の処分方法は、自治体により異なります。都内の各自治体の対応は、下記HPを参考にしてください。適切な方法で処分しましょう。

○ 東京都環境局「一般・自治体の方へ「リチウムイオン電池 混ぜて捨てちゃダメ！」プロジェクト」

<https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/resource/recycle/battery/ippai>

★ 気になることがあったら、最寄りの消費生活センターに相談しましょう



リチウムイオン電池が使用されている製品例

出典：(公財)日本容器包装リサイクル協会

東京都消費生活総合センター
お近くの消費生活センター

03-3235-1155
局番なし188 (消費者ホットライン)

○ 消費生活にかかわる東京都の情報サイト「東京くらしWEB」 <https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.lg.jp>

○ 悪質事業者通報サイトへ情報をお寄せください <https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.lg.jp/tsuho/>

寄せられた情報は、悪質事業者の指導や処分に役立つほか、都民の皆様への情報提供、啓発につながります。

